

發賣所市内各書店 丸善本支店(東京)有斐閣 東京堂 東海堂 森江書店(名古屋)川瀬書店(大阪)盛文館・福音社(神戸)川瀨日進堂 賣文館(廣島)洗心書房

第四版出來

梅原眞隆著

淨土眞宗

四六判總絹表裝
紙數二六〇餘頁
天金美本函入
定價壹圓八拾錢
送料拾貳錢

內容

△眞宗篇	絕對是認	無義爲義	自然法爾
△本會篇	眞佛解放	立撮即行	佛格開展
△祖師篇	凡夫直入	黑衣象徴	愚禿體驗
△仰信篇	南無歸命	恭敬隨順	他力廻向
△生活篇	體驗基調	無得道味	功德莊嚴

親鸞聖人によりて、眞宗の大道は開闢せられたり、淨土眞宗これなり、淨土眞宗に歸するものすでに夥しく、親鸞聖人を慕ふもの愈多からんこす、こゝに於てか適切に眞宗の精要を領解せしむる近代的指針なるべからず、かくて本書は公刊せられたり、本書收むる三篇五篇、第一の〔眞宗篇〕は淨土眞宗の本質を的示し、第二の〔本會篇〕は阿彌陀を讃嘆しつゝ、救済の佛力を仰ぎ、第三の〔祖師篇〕は愚禿親鸞に直參して凡人の救済を慶ぶ、第四の〔仰信篇〕は佛凡一體の妙諦にふれ、第五の〔生活篇〕は現實隨順の開展を示す。全卷すべて體驗の表白にして、洗練せられし表現ニ意味ふかき釋明はまさに現代の要求を充たすべく、修道者の心絃に共鳴すべし。

特約販賣

西六條 興教書院(振替大阪一〇八一五) 東六條 丁子屋書店(振替大阪一〇二九〇)
東六條 法藏館(振替大阪一七〇四) 五條高倉 法文館(振替大阪四五五六)

內外出版株式會社發兌

東京市下區
新町七條北

振替口座
三五九二二